

Ⅲ 聖学院大学出版会

出版会会長は、1991年の出版会発足時より2013年3月31日まで大木英夫、2013年4月1日から2017年3月31日までを阿久戸光晴、2017年4月1日から現在までを清水正之（学校法人聖学院理事長，聖学院大学学長）が就任している。2013年10月28日に出版会規程が改定され、2013年4月1日に遡及適用された。この年度より出版企画委員会が設けられ、出版を希望して提出された出版企画書を審査し、出版書を厳密に選定することとなった。出版会運営は出版会事務課が行ってきたが、2017年6月から研究支援課と統合され、聖学院大学学術支援部研究支援・出版会事務課として運営されてきた。2020年度からは大学事務組織の大幅な改変により、聖学院大学経営企画部大学総務課の研究支援チームが運営および事務を担当している。

また「大学出版部協会」には設立2年目の1992年4月から2017年3月まで25年にわたり加盟し、大学（学術）出版を通して、研究成果の公開，社会還元，出版活動の地位向上に寄与してきた。

目的と理念

総合研究所の補助事業に位置づけられている聖学院大学出版会は、大学・大学院の研究成果を公開し還元する機能と同時に、大学の広報的役割を担い、大学外への出版物の普及を促進している。

- 1) 学校法人聖学院は、プロテスタント・キリスト教の精神と文化の伝統を継承する学校であり、キリスト教文化，キリスト教教育の発展に寄与することを考慮する。本学の学術・研究支援，研究成果の公開，学術出版活動と学術広報を主目的として，研究・教育ならびにアカデミックステイタスを向上させることを趣旨とする。
- 2) 「聖学院大学の理念10ヵ条」「建学の精神」「聖学院の歴史」を遵守し，一人ひとりのこころを大切にし，人間としての成長を促すという教育姿勢に基づき，学術的かつ国際的，創造的かつ総合的学問の進展をはかる出版活

動をする。

また、次のような出版物を刊行する。

- ① 学校のカリキュラムに即した講義テキスト、特にキリスト教学校の「聖書科」教科書
- ② 研究の成果としての学術書
- ③ University Extensionの趣旨に基づく学術的啓発書
- ④ 学生・生徒の人生の伴侶となるような教養書
- ⑤ キリスト教思想，などの専門書
- ⑥ その他，新しい時代に必要とされる選定書

これまでにティリッヒ関連書籍4冊，ニーバー関連書籍9冊，パネンベルク関連書籍4冊，聖学院大学研究叢書10巻，臨床死生学研究叢書5巻，『スピリチュアルケア研究』，また一般書として，〈スピリチュアルケアを学ぶ〉シリーズ7巻，〈福祉の役わり・福祉のこころ〉シリーズ6巻など，2020年度末までに143点の書籍を発行している。

2018～2020年度の出版物（発行日順）

2018年4月20日

菊地 順 編著『永遠の言葉——〈キリスト教概論〉』

2018年6月20日

松原 望 著『ベイズの誓い——ベイズ統計学はAIの夢を見る』

2018年6月25日

菊地 順 著『ティリッヒと逆説的合一の系譜』（聖学院大学研究叢書10）

2018年7月5日 初版第2刷

松原 望 著『ベイズの誓い——ベイズ統計学はAIの夢を見る』

2019年3月15日 改訂版第3刷

聖学院・女子聖学院中学校高等学校聖書科教科書編集委員会編
『神を仰ぎ人に仕う——召命に生きた人々』

2019年4月25日

ラインホルド・ニーバー 著，高橋義文・柳田洋夫 訳『人間の本性——キリスト教的人間解釈』

2020年3月10日

土方 透 編著『世界社会の宗教的コミュニケーション——共鳴の醸成』

2020年8月25日

丸山久美子 著『作田明の生涯——犯罪精神医学者の歩んだ誇り高き里程』

2020年12月24日

森田美千代 著『マーティン・ルーサー・キング・ジュニア——そのキリスト教と民主主義』

2020年12月25日

村松 晋 著『近代日本のキリスト者——その歴史的位相』

2021年3月25日

菊地 順 著『キングと共働人格主義』

電子書籍

Maruzen eBook Library

- ・菊地 順 著『ティリッヒと逆説的合一の系譜』

Amazon Kindle

2018年12月Amazon Kindle エンタープライズ・パブリッシング (以下、KEP) との契約を行い、2019年4月より試験的に以下の2点の発行を行った。

- ・松本裕子 著『魔女は真昼に夢を織る』
- ・松原 望 著『バイズの誓い——バイズ統計学はAIの夢を見る』